



全国曹洞宗青年会の

活動紹介(六十三)

「第十回つるみ夢ひろばin總持寺」 参加報告

庶務 高杉 春輝
たかすぎ しのぶ

令和六年十一月三日に東日本大震災復興支援、また大本山總持寺と地域住民の交流を目的とした「第十回つるみ夢ひろばin總持寺」が開催されました。全国曹洞宗青年会からは総合企画委員会の諏訪弘史副委員長、山本光輝委員と私の三人で参加し、キッズコーナーを兼ね、頒布物の「ナムナムぬりえ」を用いたぬり絵ブース設置、災害復興支援活動のパネル展示、ボランティア基金への募金を行いました。

今年も天気にも恵まれ、来場者も多く活気があり、ぬり絵ブースも常に満席に近い状況が続いて大



変盛況となりました。ぬり絵は一仏兩祖を含めた四種類を用意しておりましたが、種類が足りなくなるほど人気を博し、思い思いにぬり絵を楽しんでいる様子を見てこちらも嬉しくなりました。家族連れで参加されている方が多く、子どもたちが興味を示して足を運ばれており、保護者の方もお子さんのぬり絵の様子を眺めながらブースでゆっくりくつろがれていました。一仏兩祖を塗られたお年寄りの方からは、ご自宅のお仏壇にお祀りしたいといった、ありがたいお言葉もいただきました。他ブースの出展者やステージで披露

していたダンスチームの子どもたちも来てくださり、多くの地域住民との交流を深めることができました。

また、災害復興支援活動のパネルは、東日本大震災、熊本豪雨災害に加えて元日に発災した能登半島地震について展示いたしました。



た。支援物資の提供や瓦礫の撤去、炊き出し、傾聴活動のパネルを見た参加者の方がたが募金をしてくださり、特に子どもたちからの募金が多かったのは大変感銘を受けました。じつとパネルを見つめ、すぐさま親の元へ駆けつけ、お金を握りしめて募金してくださった姿からは、災害支援に対する想いが芽生えたのではないかと感じております。このパネル展示によって同じ国内で起きている悲痛な現状を知り、募金することで助け合いの心を育む良い機会になっていただけたのではないかと思っております。

なお今期の全国曹洞

宗青年会は災害支援活動に加え、創立五〇周年記念事業として「災害復興支援活動 全国研修会」を開催し、全

国各地の青年僧侶、寺族と一緒に災害に備えております。

今年の活動でも地域住民の方がたとの絆を深めることができました。ぬり絵ブースでは布教化活動の大切さ、パネル展示では被災地復興への想いをより強くし、被災の記憶を風化させることなく伝えることができたイベントだったと感じております。

この度青森県より参加させていただき、素晴らしい交流ができた貴重な機会を得ることができ感謝申し上げます。今後も仏教を身近に感じてもらえるよう引き続き活動してまいります。



● 執筆者プロフィール

庶務 高杉春輝

青森県曹洞宗青年会 所属